

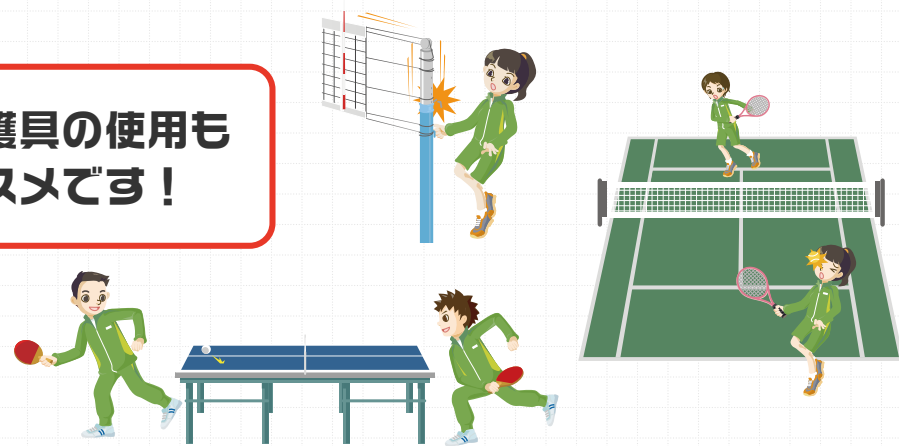
大切な眼をけがから守ろう!

チェックポイント

- 練習時は十分なスペースを作ろう。
- ネット張りの際は、ポールの上にある滑車が曲がっていないことを確認してクランク(ネットをまく道具)を回すようにしよう。
- 打ち返しの練習をするときは、余裕を持って交代しよう。
- レベルに応じたグループ分けをしよう。

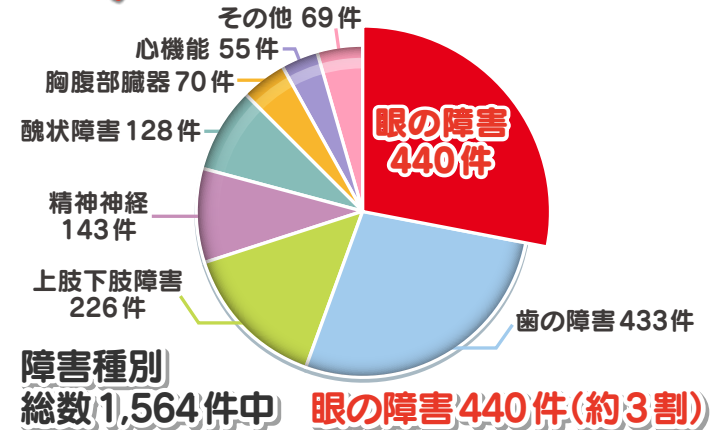


眼の保護具の使用も
オススメです!



用具と環境の整備を忘れず、集中してプレーしよう!

こんなに多い眼のけが



参考：平成28年度スポーツ庁委託事業 スポーツ事故防止対策推進事業『学校でのスポーツ事故を防ぐために 成果報告書』、映像資料DVD「スポーツ活動中の眼の事故防止と発生時の対応」

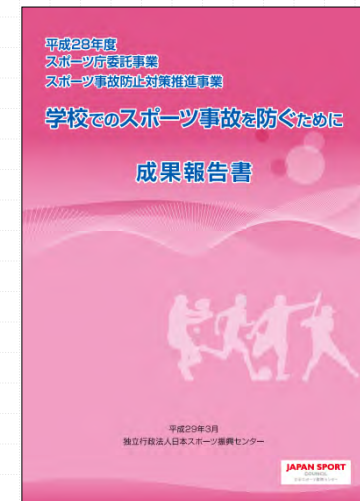
もし眼にもものが当たってしまったら…?

事故発生時の対応

- ① 眼を無理に開かせない。
- ② 強く押さえない。
- ③ 外傷部分に異物が入らないように覆う。
- ④ 眼と眼の周辺を清潔に保つ。
- ⑤ 化学物質が眼に入った場合は、十分に洗い流す。



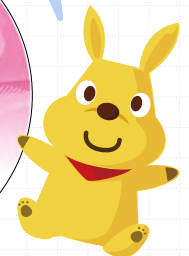
参考資料
(学校安全Webからダウンロードできます!)



眼のけがは、痛みが強くなくても重症となる場合があります。
また、けがをした直後は痛くなくても、
帰宅後や数日後に異常が現れる場合もあります。
異変※を感じたときは、眼科を受診しましょう!

※「糸くずのようなものが飛んで見える」
「ぼやける」「一部が見えなくなる」等

YouTube 配信中!



参考：平成28年度スポーツ庁委託事業 スポーツ事故防止対策推進事業『学校でのスポーツ事故を防ぐために 成果報告書』、映像資料DVD「スポーツ活動中の眼の事故防止と発生時の対応」